

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38461
事業名	斎場運営体制構築費					
評価担当課	所 属	保)ウェルネス 施設管理課			電話番号	011-211-3518
施策名	公共施設では、整備や運営・維持管理などに関する積極的な官民連					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	高齢化の影響により、近年火葬件数が年々増加しており、今後希望日に火葬ができなくなる恐れがあることから、火葬場の混雑緩和に向けた運用面の改善が必要である。また、火葬需要の増加に対応した安定運営を図るため、施設整備面では、老朽化している里塚斎場の再整備や山口斎場の第2期事業の事業構築などのほか、財政面では収支改善に向けた料金体系の見直しや近隣自治体との広域連携等の検討が必要である。これらの課題に対して、札幌市斎場等あり方検討委員会での議論を重ね2019年度に「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」を策定し、ビジョンと施策の方向性を示した。さらに、2021年度には運営計画を策定し、ビジョンの実現に向けた具体的取組を整理した。
	事業内容(何を実施し)	①協議会等の運営 協議会の実施を通じて、事業の進捗報告を行った。 ②火葬場予約システム導入・保守 火葬場の混雑緩和を図るため、葬祭事業者がインターネットを通じて事前に火葬の予約を行う火葬場予約システムを導入した。 ③運営計画推進検討業務(使用料改定、広域連携、友引開場等) 火葬場の安定運営に向けて、財政面からの改善を図るため、火葬場使用料の見直しに向けた調査を実施し、アンケート調査やワークショップの開催により、市民意見を聴取した。また、将来的な近隣自治体との連携手法の検討に向けた調査を実施し、今後の広域連携手法の可能性を探った。 ④山口斎場PFIアドバイザー業務 山口斎場の第2期PFI事業の事業者選定に向けて、選定委員会の開催や実施方針及び要求水準書(案)を策定した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	予約システムの導入や友引開場の実施を通じて、火葬需要の平準化による火葬場の混雑緩和を図り、市民サービスを向上させる。また、当該平準化効果を把握するため、車内待ち時間を64分から30分に抑制することを目標とする。
	他都市の状況	本市以外の政令指定都市では、17市がWebによる火葬場予約システムを導入している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	15,435 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2 人 工
令和5年度予算額	38,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.5 人 工
令和5年度決算額	29,125 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.5 人 工
令和6年度予算額	39,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.5 人 工

指標	アウトプット活動指標1					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標1	火葬場入場前の車内待ち時間の抑制				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
					30分	30分	30分
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	火葬場の混雑緩和を図るため、葬祭事業者がインターネットを通じて事前に火葬の予約を行う火葬場予約システムを導入した。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	予約システムを導入から約半年が経過し、予約制での運営が浸透している。また、斎場の現場からは、30分の予約枠での案内はできており、車内待ち時間は減っているという報告を受けている。引き続き車内待ち時間調査等の効果検証を実施し、必要な見直しを行っていく。